

「福祉」と「外国語」の講演会および事例発表会を開催しました

8月2日(土)、池田町中央公民館にて、午前中は福祉教育講演会及び事例発表会、午後は外国語活動・英語スピーチの事例発表会を開催しました。当日は大勢の方にお越しいただきありがとうございました。

福祉教育講演会では、文部科学審議官の前川喜平さんと岐阜県教育委員会教育長の松川禮子さんに国と県の福祉教育の動向について講演していただきました。前川審議官は「福祉と教育」と題して、学校教育における福祉教育の位置づけや福祉体験を通して子どもたちの心が育まれることを話されました。松川教育長は「岐阜県における福祉教育の現状と課題」と題して講演していただきました。事例発表では、各小中学校と池田高校の児童生徒が中心となり、今までに実践した活動の紹介や活動を通して学んだことを発表しました。サンビレッジ国際医療福祉専門学校は、摂食嚥下障害の事例を通して、「対象者の心に寄り添う心」を育てる

重要性を訴えられました。

午後の外国語活動・英語スピーチでは、各小中学校の児童が、日頃学習している内容を7・8分で紹介してくれました。英語の歌やあいさつ、自己紹介、動物の鳴き声、好きなスポーツを尋ねたり答えたりしていました。八幡小学校の6年生は、修学旅行で外国人観光客に話しかけた様子を再現してくれました。どの子も明るく元気に発表でき、英語でのコミュニケーションを楽しんでいる様子でした。



▲外国語活動発表会の様子

中学生6名と高校生1名は5分程度の英語スピーチをしてくれました。感情表現が豊かであまり緊張がとれずよく伝わっていました。今年も昨年以上にたくさんの方にお越しいただき、学校の取り組みを理解していただくよい機会となりました。次年度も開催しますので、ぜひご参観を願います。

職人の技術で子どもたちに快適な学校を

8月17日(日)、揖南建築業組合(代表、森敏郎さん)の皆さんに町内の小中学校施設の修繕をしていただきました。

この作業は、毎年夏休み中にご協力をいただいているもので、今年も24人の方にお世話になりました。

当日は、不具合のある扉を直したり、棚の製作などしていただきました。

暑い中、組合の皆さんには一生懸命に修繕をしていただきました。ありがとうございました。

暑い中、組合の皆さんには一生懸命に修繕をしていただきました。ありがとうございました。



▲温知小で扉を直す組合の皆さん

ありがとうございました。おかげ様で3年が経ちました。

平成26年7月24日をもって、おかげさまで道の駅も開駅3年が経ちました。普段より町内の方にはご協力・ご利用いただき、誠にありがとうございました。改めてこの場をお借りして、御礼申し上げます。



さてそんな中、さる7月21日(月・祝)には3周年を記念して『郡上おどり大会』を、また26日(土)には『鮎ほこ連阿波おどり』を開催させていただきます。梅雨が明けた途端の猛暑の中でしたが、両日ともお越しいただいた方には一緒に踊っていただいて、暑さもぶつ飛ばしていただけたのではないかと感じております。

郡上おどりの当日は、清流の国ぎふマスコットキャラクターの『ミナモ』も登場。やっぱりお子様の人気はすごいですね。あつという間に取り囲まれて、即席記念撮影会が行われていました。

もちろん『ミナモ』も踊りに参加。オリジナルの郡上おどりの浴衣を颯爽と着こなし、暑い中皆さんの輪に加わっていました。



また当日は、岐阜農林高校の学生さんによる池田町産の梅を使った新たに開発したスイーツ『うんめえ〜ロール』の販売



売も行われました。150個を用意し10時からの販売でしたが、4時間定額で完売。

ロールケーキの中にある甘酸っぱくさっぱりした梅のクリームが夏でも食べたくなるスイーツでしたね。次回の販売はまだ予定されていませんが、機会があればぜひ、ご賞味ください。

そして26日(土)に行われた鮎ほこ連による阿波おどりのショー、実は道の駅では2回目の開催となります。

阿波おどりって、両手を頭の高さまで上げて踊るあのよく目にする光景だけだと思っていたのですが、違うんですね。着ている着物も奴さん風の物

や半纏の様なものなど5種類ほどありまして、それによっておどりのパリエーションが違つたんですね。ご覧いただいた方にも、大変喜んでいただけた様子でした。



最後には、観覧者が混じつての阿波おどり体験もあり、暑い日でしたが、暑さも平気な楽しいひと時だったと思います。鮎ほこ連の登場は、また来年以降もあると思いますので、今回体験できなかった方もその際にはぜひお楽しみください。

これから、楽しく癒される道の駅でありますように頑張りますので、今後ともよろしくお願いたします。

